

またあいつ

精像 宗字 題

第81号
令和4年7月16日
発行者
福島県立学校会長
退職校長 隆
北会津支部
星 憲

母を看取る

副支部長 齋藤 秀一



母を自宅で看取ったのは、四年前の六月である。

中央病院の「物忘れ外来」で認知症と診断された頃を思い返せば、金を盗られた等と同じ事を繰り返したり、ガスの点けっぱなしで家中焦げ臭い匂いをさせたり、散歩に出かけたまま戻れなくなったり、寢床に先祖様が立っていると云って怯えたり、夜中に雪道を徘徊したりする等おかしな行動が目立ってきていた。町による介護認定は「要

からも解放された。宿泊を伴う用事ができた時でも、ショートステイという方法がある事を知り、対応してもらえた。

それに加えてリクライニングベッド・車いす・スロープ等の介護用必需品も安価に借り受けでき、負担が凄く軽減され心のゆとりにも繋がった。

また、母の終末期対応については、主治医との話し合いにより無理な延命を図ることはしない「リビングウイル」とした。

最期は自宅で、私達のそばで母は逝った。八年間に亘る介護が無事に終了したのである。

ひとりにせず、自分たちで母の世話をしようとしたのは、亡くなったまま何日も発見されなかった同級生が居た事や、退職校長会の同僚にも似たケースがあった事などを知ったからである。それにしても、疲労困憊せず介護を無事に全う出来たのは、妻の御陰だと思づくと思う。感謝。

支部総会、開催！ 今年もコロナ禍の中で



河東公民館 2階 総会の様子

四月十日、河東公民館にて、マスク着用、手指消毒、机一人がけ、国歌静聴といったコロナ対策を徹底し支部総会を開催した。参加者四十名。

星憲隆支部長は挨拶の中で、コロナ禍により豊かな学びが阻害されている幼児教育の現実を取り上げられ、本会でも、これまで以上にお互いを支えあう試みやシステムが必要であるとの話をされた。

会の始まりにあたっては、物故会員へ黙祷が捧げられたが、この一年で実に十二名の会員が亡くなられた。心よりご冥福を祈りたい。

続いて、八名の新入会員を代表し阿久津光俊様より挨拶があった。三月三十一日と四月一日の百八十度の変化に戸惑いつつも、自分ができることを精一杯やっていたいとお話だった。

次に米寿・喜寿を迎えられる会員への記念品贈呈並びに代表挨拶が行われ、星美法様より、現役でなくとも「今日用」と「今日行く」は必要で、この「必要」が元気の源であるとお話をいただいた。

また、「全国民生児童委員連合会長表彰並びに福島県知事感謝状」を受けられた團原正雄様からは、現職時の地域に貢献できない残念な思い、幼少期にお世話になった方々と話ができる幸せ等々、四期十二年の活動でのお話をいただいた。

議事については、菅家敏之様が議長に選出され、事業報告・事業計画・予算案が慎重に審議され、承認された。

本年度活動へ向けて新たなスタートが切られた。

特別寄稿

統合中学校に

期待すること



猪苗代町教育委員会
教育長 宇南山 忠明

猪苗代中学校五十八年、
吾妻中学校四十二年、東中
学校六十四年と、長きにわ
たり地域とともに歩んでき
た学校が、その歴史に幕を
閉じました。

令和二年の春から進めて
参りました統合中学校の新
校舎建設工事が完了し、新
「猪苗代中学校」が、四月
一日に開校しました。
一年生一〇九名、二年生
一〇二名、三年生九十五名
の全校生徒三〇六名と、教
職員三十四名の学校です。

校舎は、鉄筋コンクリー
ト造二階建てで、冬の積雪
落下を防止するため、陸屋

根とし、子どもたちの安全・
安心な学習環境の確保を第
一に、地域の災害時の避難
所としての機能も備えてい
ます。

保護者や地域の方々など
様々な人が利用できるほか、
ユニバーサルデザインを取
り入れ、高齢者や障がい者
の方も誰もが利用しやすく
なっています。

また、校舎は規模が大き
いことから、大量のエネル
ギーを消費します。そのた
め、地中熱や太陽光などの
再生可能なエネルギーを活
用し、環境に配慮した校舎
となっています。

校舎の特徴としては、昇
降口や階段、各教室のサイ
ンに、本町出身の写真家で、
「福島の花」を題材に活躍
されている野口勝宏氏の写
真が飾られ、華やかさと癒
し感を演出しています。

学校は「教育の場」であ
ると同時に、生徒が一日の
多くを過ごす「生活の場」
でもあります。そのため、
内装材には、県産木材を多
く使用し、暖かみのある校



野口勝宏氏の写真が飾られた昇降口

舎となっています。照度を
確保するため、開放感のあ
る大きな窓にし、明るく清
潔感のある保健衛生にも十
分配慮しました。また、防
犯体制も含め、学校の安全
管理面も徹底しました。

一階中央部には、図書室
とパソコン室を整備し、メ
ディアゾーンとして生徒が
積極的に学習に取り組める
ほか、スクールバスの待ち
時間に読書やパソコンを使
用することもできます。

二階中央部には、全校集
会もできる広い多目的教室
兼視聴覚室を整備しました。
その他に、一階と二階の各
学年教室前には、オープン
スペースを設け、多様な学

習形態に対応できるほか、
生徒の居場所として活用で
きるようにしました。また、
本町ならではの冬季間使用
するスキー乾燥室も整備し
ました。

校歌は、両親が本町出身
者で、東日本大震災と原発
事故後、これまでに何度か
「いなわしろ音楽祭」に参
加していただいている実践
学園中・高等学校教諭の関
田裕一先生に、作詞・作曲
を依頼しました。

校章は、東京学芸大学と
本町が連携協定を締結して
いることから、大学にデザ
インを依頼したところ、町
のシンボルである磐梯山、
猪苗代湖と白鳥をモチーフ
に、学生が制作しました。

今後の工事については、
間もなく新体育館の建設工
事と旧校舎の解体工事が行
われます。体育館と校庭は、
来年の秋まで完成する予定
で、その後、旧体育館の解
体が行われ、全ての工事が
終了となります。

統合中学校を、新しい時
代の学び舎として、生徒の

可能性を引き出すための個
別最適な学びと協働的な学
びの一体的な学習の場とし
て活用してほしいと思いま
す。そのためにも、学校と
いう固定概念に捉われるこ
となく、学校のあらゆる場
所が学びの場となり、「教
育の場」「表現する場」「心
を育む場」として活用され
ることを期待したいと思います。

最後に、本町の将来を担
う子どもたちが、教育目標
である、「生きる力」「確か
な学力」「健やかな体」を
確実に身に付けられるよう、
よりよい教育環境の充実に
努めて参ります。



完成した統合中学校の校舎

湯めぐり

星 美法



早いもので定年退職後十七年。この間幼稚園長職や町内各種の組織・団体・地域区内の役回り等があり年

月が過ぎてしまったという感じである。こんな中でも時間に束縛されることはなく時期を見ては好きな温泉めぐりをして楽しんでいる。現職時代も職員旅行・研修旅行・忘新年会等々で各地の温泉、観光地をめぐり歩いたことが、今も楽しい思い出として記憶に残っているが、ただそうした旅も個人的旅行とは違い、ある程度スケジュールに沿い

ながらの広く浅くの忙しい旅が常だったように思う。さて現在はというと、四季折々の案内情報を見ては気ままに予定を作り出かけられるのがいい。後期高齢者の仲間区分に入ったこともあり、最近は無理のないように県内や近隣県一泊の湯めぐりが主である。県内だけでも浜・中・会津と広く有名温泉地が多く控えており、廻り歩きに

はことをかかない。到着したらまずゆっくりと外周りを散策遊歩、そして館内廻り、あとはゆっくり入浴をし、夕食を待つ。ある温泉ではさらさらの肌ざわりで美人になれる気持ちよい硫酸塩泉が特色であるとか、また、ある別の温泉では有名山脈からの源泉で何百年の歴史があるとか、また、別の温泉ではラドン等の特殊成分で痛風、

皮膚病、婦人病によいとか、また、こちらの湯は三日もいれば大抵の病気が治るとか、それぞれに効能を掲げ広くPR・自慢しあっているところは面白い。まあ、効能の結果はその人任せでよいことにしよう。今まだコロナ禍の中、一日も早い収束を願いつつ、心身の癒しと健康維持を理由に今後も温泉を楽しもう。

生かされて

目黒 美智子



喜寿！感無量です。白子のような仮死状態で生まれあと十年の命」と宣告され

たことは以前書きました。今、無性に当時のことが思い出されます。宣教師のベーカー医師に東京に呼ばれ説明を受けた母にとってそれはまさに青天の霹靂。でも、母は「美っちゃんにはイエス様がついていて下さるから大丈夫」と私を神様の御手に委ねました。ベーカー医師は滞在先にいつも私を同伴させ治療を続けて下さいました。

保谷市では通訳のご夫妻が妹のように親切にお世話して下さい、所沢市では教会員の母親が孫のように可愛がって面倒を見て下さいました。ここでは、飛行機が頭上ストレスに飛ぶたび窓ガラスがビリビリ鳴り、話し声がかき消されることは日常茶飯事で、会津では考えられない光景でした。軽井沢ではカナダの若い宣教師ご夫妻の別荘で過ご

し、体調の良い時は親しくなったメイドさんと街を歩きました。おしゃれな店が建ち並び、看板は読めない外国の文字ばかり。おとぎの国に迷いこんだような不思議な雰囲気…。その後も誠意をもって対応して下さいた多くの方々に支えられて、今があることに感謝しています。そして、その方たちに巡り合わせて下さった神様にとっても

感謝しております。生きてきたというより、皆様の祈りの中に「生かされて」きたのだとつくづく思います。私の肺は九十五歳の機能しかありません。生かされているのにはまだ使命が残されているのでしよう。明日のことは誰にも分かりません。いつも感謝の気持ちを忘れずに残された日々を歩んでいきたいと思っております。

随想

季節の写真館

出会の記録

滝沢 玲子

植物とも野鳥とも、出会いはいつも一期一会。だから、出会いを撮影して残す。記録を続けて早九年、ハードディスクに入れている随分重くなったデータの中から四点の画像を紹介する。

まず、仮称フジスマレ。藤の花が咲く頃、淡紫色の花を開花する。葉に白い斑が入るのが特徴。現在フジスマレとの同定の是非を研究中。同定できれば会津での新産地となる。直径1.2cmの花を、地面にへばりついて接写した。



フジスマレ

福島県での新産地である生育地を発見者に教えてもらい、三年かけて開花を待った一輪のゲンジスマレ。丸

い葉の裏・花卉の裏・距が源氏紫色をした白花の高貴なスマレ。ほんのり香気もする。花卉をシジミの幼虫が食しているのが残念。



ゲンジスマレ

花のない冬季だけのはずがいつの間にかオールシズン追いかけている野鳥。森の忍者の様なサンコウ



サンコウチョウ

チョウ。長い尾と青いアイリング・嘴、鳴き声が魅力。昨年親と子の一家に会う。



チゴモズ

絶滅危惧ⅠA類のチゴモズ。頭が青灰色、嘴・過眼線が太いのが特徴。気が合うのか、二回も僥倖を得た。

新入会員紹介

心より歓迎致します。

- 石本 浩一様 (謹教 小)
 - 秦 尚志様 (猪苗代小)
 - 冠木 誠様 (坂下南小)
 - 神内 透様 (坂下東小)
 - 阿久津光俊様 (若松六中)
 - 湯浅 英生様 (北会津中)
 - 佐竹 正徳様 (磐城桜ヶ丘高)
 - 湯田 重哉様 (安積黎明高)
- ()内は最終勤務校

石本 浩一

四月から北塩原村にお世話になっていきます。初めてのことばかりで、どう対処したらよいか分からず、戸惑う毎日です。今後とも、御指導よろしくお願ひいたします。

秦 尚志

三月に退職して、四月から湯川村教育委員会で週四日、学校教育アドバイザーとして勤務しています。もうしばらく教育に関わっていいことと思っています。いろいろお世話になります。

冠木 誠

コロナとの戦いの日々から突如退職したような気持ちで、実感がありません。今は、本会の端に加えていただける一人前の退職校長を目指しております。よろしくお願ひいたします。

神内 透

昨年春に定年退職を迎え、福島県会津自然の家に勤務し、豊かな自然と子ども達から元気をいただいています。御会での活動を楽しみにしておりますので、今後共よろしくお願ひいたします。

阿久津 光俊

若松六中で定年退職を迎え、四月から北会津公民館で専門員として再スタートしました。生涯に渡って学び続ける地域の方々に元気をいただきながら、笑顔忘れず頑張っています。

湯浅 英生

どうぞよろしくお願ひいたします。毎日、不要物の整理をしながら、愛犬三匹と家族の帰りをひたすら待ち続けています。犬の気持ちかわかるようになってきた今日この頃です。

佐竹 正徳

教職最後の二年間、コロナ禍の下いわき地区で学校経営に努めてまいりました。現在は購入したままになっていた書籍に少しでも目を通そうと、時間を見つけて読書しております。

湯田 重哉

校長として田島高校、会津学鳳中学校・高校、安積黎明高校を経験し、定年退職いたしました。新型コロナに悩まされたことにより、改めて人と人との繋がりの大切さを感じております。

吾輩は猫で…はない

山内正吉

「きなこ・あずき・よもぎ」、餅や団子の種類ではない。我が家に同居している三姉妹の愛猫の名前である。

何故このような名前をつけたのか、吾輩には「命名権」すらないので不明である。

五年ほど前だったか、近所の空き家の庭に野良のママ猫が四匹の子を産み、泣いていたのを保護したのがきっかけだ。

すでに、我が家には黒の老婆と還暦頃のオスの二匹の猫が同居していたため、タウン情報誌に「里親募集」の知らせを載せたところ、市内、猪苗代、西会津へとそれぞれ引き取られていき、安堵したものだ。

ところが、数か月するとこのママ猫が、またまた四匹の子を産み、悪戦苦闘の末三匹だけを保護することができた。

またも里親とも考えたのだが、先住者の二匹に三匹を加えても何とかなるだろうと、我が家の実権をつかさどる母娘が決定し、三姉妹が同居することとなった。先住者の二匹の猫は、四年前

と一年前に亡くなり、今は、この三姉妹に囲まれた生活である。姉妹とは言え、それぞれに個性があるもので、「きなこ」は最もお転婆であり、「あずき」は甘えん坊、「よもぎ」はおっとり屋といったところだろうか。

我が家では誰もかまってくれない吾輩だが、唯一「よもぎ」だけがなついてくれ、よく膝の上に乗ってくる。可愛いものである。(自己満足)

ただし、この「よもぎ」脱走の名人であり、これまでに四度家を飛び出し、そのたびに家人総出で探し回った。夕闇が迫るころに戻ってくるのだが、心配をかける「家出娘」でもある。

コロナ禍の中、家にいる機会が増えているが、猫と戯れるのもまた楽し。(猫が吾輩の相手をしてくれればだが…)



三姉妹を代表して…「よもぎ」嬢です。

悠悠ひろば

夢見る

鈴木力雄

自由人となり約二か月、想像以上に穏やかで緩やかに流れる時間を我儘いっぱい楽しんでいく。生来多動で小さな私が空の多い予定表にどう向き合うか心配だったが、きわめて平凡で当たり前の日常に新しい気づきや発見があり、正直驚いている。家にいる時間が長くなり、我が家の生活スタイルも理解できるようになった。そんな私の無理解に細君も半ば呆れ気味、何を今更と(申し訳ない)。

以上のような現状を踏まえながら、反省と期待を込め、ささやかな夢を整理してみた。

一、孫と共に育つ

これが予想以上に面白い。孫との関わりを通して妻任せの子育ての過去と父親失格の憂鬱。遅きに失するとも爺として追試合格を狙っている。この夏親子三代で念願の富士登山を予定。ご来光を拝するゾ。

二、心身のメンテナンス

目標であった父の天寿を超えた。元氣こそが一番と、新たな自分史のために心身のメンテナ



♪行きはよれよれ 帰りは怖い♪

ンスを始めた。病院通いをトレーニングの一つに加え、運動や睡眠時間を増やした。結果酒量も増えた。

三、青春邂逅の旅

七年前、退職を機に実現させるはずだったドッキリ訪問の旅が漸く始まった。悪友や恩人時を温め合い、旨い酒肴を堪能するはずが、何故かお詫び行脚となる。これ亦愉しからずや。

四、自転車遊び

自分の足で、車窓からではなかなか気づけなかった故郷の自然や歴史を満喫している。一人の時間がやけに楽しい。

ちなみに写真にある背灸山の関平までの道のり、一気に攻め落とす予定が…落車七回。

所詮、年寄の冷や水と嘲笑われてもいい。目指すぞヒルクラ イム完全走破!

教育現場からの報告

地域を含めた多くの目で

会津若松市立河東学園

副校長 飯塚 秀一

長いコロナ禍の状況が続く中で、学校でも様々なことが制約され、学校行事等も中止や延期が余儀なくされています。一大行事である運動会も、午前中の短縮開催や学年ブロックごとの開催にするなど、子どもたちや保護者、地域の方が楽しみにしている行事にも大きな影響が出ています。

修学旅行や宿泊学習などもコースの変更や延期、再延期となって当初の予定とはずいぶん内容を変更することも多々ありました。

しかし、これまでの二年間の経験を生かしながら、子どもの学びを止めないよう、教職員の創意工夫と知恵を出し合っ、感染症対策をとりながら子どもたちのために教育活動を進めて

います。

本校は、昨年度に会津初の義務教育学校として開校しました。九年間の系統性を確保し、五・六年生においても一部教科担任制を導入しています。学校の特色を生かすためにも前期課程、後期課程の全職員で指導できる体制を整えています。

特に、河東学園は、地域学校協働本部事業における「河東学園応援隊」があり、学習支援はもちろん、放課後支援や環境整備支援等に多くの方々の協力をいただきながら学校教育活動を進めています。公民館を中心としたこれらの事業には退職された校長先生方もたくさん関わっておられ、まさ



1年生を迎える会

に、地域の方々の協力によって学校・子どもたちを支えていただいています。

子どもたちが笑顔で学習に取り組めるように、そして、地域の方々から愛される学校を目指して、退職校長会北会津支部の方々の協力もいただきながら、このコロナ禍での学校運営を行っています。

コロナ対応三年目

会津若松市立第四中学校

校長 藤田 信一

新型コロナウイルス感染症への対応の難しさは、「ウイルスは目に見えない」「感染していても無症状の場合がある」「発症の二日前から感染させる危険がある」ことにあります。したがって「自分は感染しているかもしれない」という想定のもとで行動することが求められています。具体的には三密（密集・密閉・密接）の回避、健康管理の徹底、マスクの着用、手指衛生の徹底、換気の徹底などです。学校では、毎日の検

温や健康観察と記録、マスクの着用、冬でも常時換気を行い寒ければ防寒着用、給食は一方向を向いて黙食、感染の可能性の高い教育活動の自粛などを行ってきました。

そんな中、当初はほとんどが中止となっていた各種行事が、最近は感染拡大防止に配慮しながら工夫して実施する方向で進められています。生徒・教職員で六百人を超える本校では、二年前から全校生徒が体育館に集まったことがありません。それでも、放送で行っていた始業式・終業式を学年ごとに分けて体育館で実施、修学旅行も二年前は日帰り、昨年は一泊での実施でしたが、今年以前のよう

に二泊三日で実施する方向で準備しています。授業参観や保護者会は中止や紙面開催から、参観時間や人数を工夫して実施、中体連大会や各種コンクールは二年前はほぼすべてが中止でしたが、昨年は無観客ながら開催が実現しました。行



みんなで取り組んだ長縄跳び

事等は生徒たちにとって大切な学びの場であり、簡単に中止を決めるのではなく、なんとか工夫して実施しようとう努力しています。

日々の教育活動で大きく変わったことの一つに、一人一台のタブレット配置があります。まだ休校時にリモート授業が実施できるだけの準備はできていませんが、日々の授業の中での活用が進み、今後さらに個に応じた学びが充実していくことは間違いありません。

コロナ禍のピンチをチャンスにする発想の転換が必要で、多くの困難がある中、各学校では工夫しながら教育活動を進めています。

大堀 昌弘

今は新生猪苗代中の特別支
援員として週五日、七時間勤
務です。町の子供たちの成長
を見守ることに喜びを感じて
います。また、地区百世帯の
区長の仕事にも精を出す毎日
で一日が過ぎるのが早いです。

小関 れい子

退職後始めた民謡は、相も
変わらず一年生であるが、そ
の土地の情緒を楽しんでいる。
今年、英会話にもチャレ
ンジ。テキストやCDを購入
し、孤軍奮闘している。いつ
の日か夢が叶えばいいなあ。

小林 清

欠かせないルーティン二つ。
○朝、起きがけのダージリン。
見わたして今日の心がきまる。
○夕、食前のオンザロック。
ふり向いて小さな幸せおもう。
明日もまたかくてありなむ

齋藤 茂

毎日のようにウクライナか
ら、悲惨な状況が伝えられて
います。青春時代を戦争中に
過ごした母が「今はいい時代
だね。」と言っていたのを思
い出します。一日も早く平和
が訪れることを願う日々です。

堺 良和

ゴールデンウィーク終盤、
天鏡台に上った。ぼつぼつと
雪の残る磐梯山。今が盛りの
八重桜。霞たなびく猪苗代湖。
青い空には一筋の飛行機雲。
マスクを外して清澄な朝の空
気を胸一杯に吸い込んだ。

玉川 武

今年二月に開催された「秋
田鹿角国体」スキー競技会に
福島県選手団の団長として、
参加しました。コロナ禍で大
変な状況の中、郷土の代表選
手の熱い戦いから、元気・勇
気・感動をもらいました。

中村 幸裕

現在の体調に際立った変化
はない。ただ、時折の体重の
増加が最大の心配事である。
心がけていることは散歩で、
身体を動かすとともに、自然
の景色や田畑、人々の暮らし
の観察を楽しむにしている。

あの方からの

 会員の今
 思いや願い……………

二瓶 修

磐梯山、博士山にはまだ残
雪。周囲の山々を眺め、畦道
の草花を見、運動公園までの
散歩。土・日はサッカーの観
戦、陸上大会やテニスなど中
高生の勇姿が見られる。四季
の移ろいを賞でながらの散策。

林 泰嗣

中学校のバドミントン部の
指導に携わって五年目。素振
りを指導したりノックをした
り、生徒の成長と交流を楽し
みつつ、指導の難しさも感じ
ている。全て順調とは言えな
いが、向かう足取りは軽い。

萬實 清一郎

三月に満八十一歳となった。
日々弱体化し故障しこんな筈
ではなかったと幾つもの医院
通い。独楽は止まれば倒れる。
気力を振り絞り曲がった腰を
のぼしのぼし好きな夜仕事を
続ける私。もちろん晩酌も。

坂内 圀允

「この頃思うこと」
やっぱり新型コロナウイル
スの感染が未だに終息しない
ことだ。医学が高度に進歩し
た現代に於いてどうしてと思
う。また、コロナ禍後の社会
はどうなるのだろうと思う。

本多 勝男

雪どけを待つて畑作に挑戦。
ジャガイモ、ネギ等食べきれ
ないので畑の荒れを防ぎたい
ので続けています。プロから
頂いた苗でのトマトづくり、
孫がおいしいと楽しみにして
いるので力が入ります。

山口 善巳

歳時記暦は実に面白い。二
十四節気の立夏、容器内で六
か月の蛹が羽化し、アゲハと
なる。自然の不思議に目を見
張る日々を過ごす。蛙始鳴、
鑑賞イネが育つともうすぐ水
辺の隣人がもどってくる。

渡部 敏郎

今年三月で八十歳を迎えま
した。毎日ゴロゴロと過ごし
庭の草や木の始末、手入れが
唯一の仕事です。桜や椿の花
が終わり、これから咲く牡丹
や石楠花、ツツジ、サツキを
楽しみにして頑張る覚悟です。

事務局コーナー

おめでとうございます

◆令和四年度「寿詞」

（満百歳）を受けられた会員

保志和 吉様

大正11年5月21日生

保志和吉先生のお宅に五月二十一日、百歳の寿詞伝達にお伺いしました。

スーツ姿の元氣な顔を見せられ、背筋を伸ばし星支部長から伝達を受けられました。

青年教師時代は会津工業高校で長く教鞭をとられ、その後県内各地の高校に勤務し、勿来工業高校校長で定年を迎えられました。生徒たちには「自主性」を身に付けてほしいと願い指導されてきたことをお聞きしました。

今は趣味のひとつである「絵手紙」を作成し、時々知人に差し上げて喜ばれているそうです。先生の姿に接し、これからも健康に留意し元気で過ごしていきたいと思いました。



◆高齢者叙勲で受章された会員
瑞寶雙光章 初瀬川 昂様

令和4年4月1日

瑞寶小綬章 田澤 正敏様

令和4年4月1日

瑞寶雙光章 佐野 孝夫様

令和4年4月1日

◆功績により表彰を受けた方

全国民生児童委員連合会長

表彰及び福島県知事感謝状

團原 正雄 様

◆令和四年度「賀詞」

（満八八歳）を受けられる会員

羽染 健一 様

昭和9年8月12日生

坂田 哲三 様

昭和10年2月9日生

宗田 充 様

昭和10年3月19日生

◆令和四年度「喜寿」を

迎えられる会員

星 文雄様 6月14日生

星 美法様 8月28日生

湯田 一秋様 10月15日生

目黒美智子様 12月7日生

成田正守様 1月8日生

◆前号以降の主な活動

○県第二回理事会

・三月九日（水）

於 吾妻学習センター

○会計監査・第二回理事会

・三月十八日（金）

於 稽古堂

○支部総会

・四月十日（日）

於 河東公民館

○第一回幹事会

・四月二十三日（土）

於 北会津公民館

○県評議員会

・四月二十八日（水）

中止

○連絡員会議

・五月十四日（土）

於 河東公民館

○第二回幹事会

・七月十六日（土）

於 河東公民館

生前のご活躍に感謝申し上げますとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

青津 直様

令和4年4月12日ご逝去

小柴 久市様

令和4年6月7日ご逝去

渡部 光裕様

令和4年7月8日ご逝去

お知恵世

広報部では、会員相互の一層の交流を図るため、広報誌に次のようなコーナーを設けたいと考えました。お譲りします！

譲ってください！

高価なものは別として、原則として無料でのやりとりでお願いします。

○一緒にやりませんか？

こんなことやっています！

テニス・ゴルフ・登山・

詩歌・写真・書道・絵画等々

仲間を募りたい方の案内や

作品を載せたいと思います。

○力を貸してください！

庭の手入れや掃除・大きな

家具や荷物の移動・運搬

等々こちらもボランティア

として、料金のやりとりは

しないことを原則とします。

広報誌に掲載してほしい

ことがありましたら、次の

連絡先に電話、あるいはメー

ルを送ってください。なお、

急を要することは難しいの

で、ご遠慮ください。

締切：八月末～十二月末

電話：0800-53800-1252

メール：shin12wind@docomo.ne.jp

担当：広報部員 田代新一

編集後記

爽やかな夏の陽が眩しい
昨今である。

家籠もりの日々も三年目を迎えた。捉え所のない不安感、孤独感、虚無感がじわじわと溜まっていく。

子どもを中心とした感染拡大が続いていることを踏まえ、県は、子どもを感染から守る対策の徹底を学校・保護者・保育の現場に要請。今、ようやく減少傾向となりほっとしている。

黙食の徹底、グループでの話し合い禁止、2m間隔を置き、同じ方向を向いての楽器の練習、消毒の徹底等々、各学校では必死で取り組んできたと聞く。

油断は許されない。気を緩めれば瞬く間に感染の再拡大に繋がるのである。

あと一息、一息である。

論語の一節に「樂業僭悦」がある。現在の苦難が喜びに変わる日が来るよう、今こそ我々も感染終息を願い、基本的な対策の励行を徹底する時ではないだろうか。